

施策名：次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備

事業名	担当課・室名	ページ
大分にこここ保育支援事業	こども未来課	1 / 8
地域子ども・子育て支援事業	こども未来課	2 / 8
おおいた子育てほっとクーポン活用事業	こども未来課	3 / 8
放課後児童対策充実事業	こども未来課	4 / 8
保育士確保対策事業	こども未来課	5 / 8
子育て支援従事者研修事業	こども未来課	6 / 8
保育所等機能強化事業	こども未来課	7 / 8
子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業(旧高齢者・子育て世帯リフォーム支援事業)	建築住宅課	8 / 8

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	大分にこここ保育支援事業		事業期間	平成16年度～平成 年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
				施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課		評価者	こども未来課長 二日市 聖子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	合計特殊出生率が低位で推移(平成25年:1.56、平成26年:1.57、平成27年:1.59)している。また、平成27年の出生数は9,112人で、過去最少となった。	事業の目的	複数の子どもを育てる世帯に対する子育ての経済的負担を軽減する。
-------	--	-------	---------------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①3歳未満児の第3子以降の保育料の負担軽減 保育料を全額免除又は補助した市町村に経費の1/2を助成(認可17市町村 認可外5市) ②3歳未満児の第2子の保育料の負担軽減 保育料を半額免除又は補助した市町村に経費の1/2を助成(認可17市町村 認可外5市)	①	172,152	総コスト	252,896	241,113	265,596
	②	101,184	事業費	251,896	240,113	264,596
	③		(うち一般財源)	251,896	240,113	264,596
	④		人件費	1,000	1,000	1,000
	計		273,336	職員数(人)	0.10	0.10

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	認可保育所等事業実施市町村(認可第3子)(か所)	目標値		17	17	17			63%	目標値					
	実績値		17	17			実績値								
	達成率		100.0%	100.0%			達成率								
認可保育所等事業実施市町村(認可第2子)(か所)	目標値		13	17	17		37%	目標値						a	
	実績値		12	17				実績値							
	達成率		92.3%	100.0%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	県内出生数に占める第2子以降の割合(大分市除く)(%)	目標値	60.0	60.0	60.0		a	保護者の経済的負担を軽減し、子どもを生み育てやすい環境を整備する本事業を県内全域で実施するには、市町村への支援が必要であり、引き続き県が実施する必要がある。 ※H28実績はH29.9月中旬に判明のため前年度実績で評価
		実績値	58.8	58.8				
		達成率	98.0%	98.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・未実施市町村への働きかけ	今後の事業方針 ・制度活用を市町村に促し、特に認可外保育所等の保育料軽減については、未実施市町村に対し引き続き働きかけを実施				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成28年度)
(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	地域子ども・子育て支援事業		事業期間	平成27年度～平成 年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	
				施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課		評価者	こども未来課長 二日市 聖子	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子化や核家族化の進行により、地域全体で子育て家庭を見守り支えていく仕組みづくりが課題となっている。	事業の目的	市町村子ども・子育て支援事業計画に基づき、各市町村が子ども・子育て家庭を対象として実施する事業にかかる経費を補助することにより、子ども・子育て支援の着実な推進を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①地域子育て支援拠点事業 地域の子育て中の親との交流促進や育児相談等を実施	①	142,788	総コスト	364,833	401,832	441,248
②一時預かり事業 家庭で一時的に保育を受けることができない乳幼児を保育所、幼稚園等で預かり、支援	②	121,138	事業費	359,833	396,832	436,248
③病児保育事業 病院・保育所等に付設された専用スペース等で、看護師等が一時的に保育を実施	③	90,024	(うち一般財源)	359,833	396,731	436,248
④延長保育事業 通常利用日、時間外に保育所、認定こども園等において保育を実施	④	81,734	人件費	5,000	5,000	5,000
	計	435,684	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価	
	地域子育て支援事業実施施設数(か所)	目標値		67	69	70		33%	病児保育実施施設数(か所)	目標値	22	28	28			21%
実績値			66	66			実績値			21	24					
達成率			98.5%	95.7%			達成率			95.5%	85.7%					
一時預かり事業実施施設数(か所)		目標値		226	291	303		28%		延長保育実施施設数(か所)	目標値	239	239	238		19%
		実績値		279	256						実績値	198	246			
		達成率		123.5%	88.0%						達成率	82.8%	102.9%			

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	子ども・子育て応援プランの最終目標値達成に向けた地域子ども・子育て支援事業の実施率(%)	目標値		83.0	86.4	88.6		a
実績値			77.3	80.7				
達成率			93.1%	93.4%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・女性の活躍推進や次代を担う子どもの成長と子育て家庭を社会全体で支援するための具体的取組を定めた「おおいた子ども・子育て応援プラン(第3期計画)」に基づく着実な事業の実施	今後の事業方針 ・「おおいた子ども・子育て応援プラン(第3期計画)」に基づく事業実施の促進のため、市町村への働きかけを強化 ・病児保育については、更なる拡充を図るため、「病児保育充実支援事業」に組み替えて引き続き事業を実施				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

繰越がある場合用

別紙2-4

事業名	おおいた子育てほっとクーポン活用事業	事業期間	平成26年度～平成 年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
			施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課	評価者	こども未来課長 二日市 聖子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	子育て中の親が、負担感・不安感を抱きながら子育てをしており、居住地域の各種子育て支援サービスについての情報把握が不十分な面がある。	事業の目的	市町村と連携して子育て支援サービスに利用できる「おおいた子育てほっとクーポン」を配付することで、子育て支援サービスの利用を通じた子育て家庭の精神的・身体的・経済的負担の軽減を図るとともに、子育て支援サービスの周知を行う。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①おおいた子育てほっとクーポン利用促進事業 未就学児童を持つ家庭にクーポンを配付し、利用等に伴い市町村が支払う経費を補助 ・おおいた子育てほっとクーポン・プラス+ 10/10補助 ・おおいた子育てほっとクーポン 1/2補助	①	262,992	総コスト	222,814	133,508	287,342
	②	2,165	事業費	219,814	130,508	284,342
	③		(うち一般財源)		130,508	284,342
	④		(うち繰越額)	219,814		
②地域の子育て支援サービス周知事業 未就学家庭に配付するクーポンの印刷及び周知・広報経費等	計	265,157	人件費	3,000	3,000	3,000
			職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
a	おおいた子育てほっとクーポン申請率(%)	目標値	100	100	100		99%		目標値						
		実績値	92.8	96.8					実績値						
		達成率	92.8%	96.8%					達成率						
	市町村担当者会議実施回数(回)	目標値		2	2		1%		目標値						
		実績値		2					実績値						
		達成率		100.0%					達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
a	子育て支援サービス(クーポン関連サービス)を知っている と答えた人の割合(%)	目標値	63.6	72.7	81.8		a	おおいた子育てほっとクーポンの申請率も増加しており、子育て支援サービスの周知が進み、サービスの利用を通じた子育て家庭の負担軽減を図ることができた。
		実績値	78.3	80.7				
		達成率	123.1%	111.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・クーポンと子育て支援サービスの周知及び利用促進	今後の事業方針 ・引き続き補助事業等を実施し、子育て家庭の精神的・身体的・経済的負担の軽減と子育て支援サービスの周知を促進 ・利用率の向上を図るため、絵本購入等市町村独自サービスの拡大を促進				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	放課後児童対策充実事業		事業期間	平成 3 年度 ~ 平成 年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
				施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課		評価者	こども未来課長 二日市 聖子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	共働き家庭の増加や働き方の多様化、女性の就労希望の高まり等を背景に、昼間保護者が家庭にいない世帯が増加しており、放課後における子どもの遊びと生活の場の確保が課題となっている。	事業の目的	放課後児童クラブの運営に要する経費の補助や、低所得者世帯への保護者負担金の減免を行うことにより、放課後における子どもの遊びと生活の場の確保を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①放課後児童健全育成事業 運営費の補助を行う市町村への補助(319クラブ) ②障がい児受入推進事業 障がい児受入れのための支援員配置費用補助を行う市町村への補助(152クラブ) ③放課後児童クラブ保護者負担金減免事業 低所得者世帯の保護者負担金の減免措置を行う市町村への補助	①	382,111	総コスト	338,185	435,052	596,168
	②	89,595	事業費	333,185	430,052	591,168
	③	31,752	(うち一般財源)	333,185	430,052	591,168
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計		503,458	職員数(人)	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	放課後児童クラブ数(クラブ) うち障がい児受入れクラブ数(クラブ)	目標値		287	301	310		76%	保護者負担金減免事業 実施市町村数(市町村)	目標値		18	18		
実績値			293	319			実績値				12				
達成率			102.1%	106.0%			達成率				66.7%				
目標値			150	157	172		18%	目標値							
実績値			140	152				実績値							
達成率			93.3%	96.8%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
放課後児童クラブ登録児童数(人)	目標値		11,203	11,555	12,434		a	クラブ数の増加や市町村減免措置への助成によりさらなる児童の受入れが可能となったことから、登録児童数が増加した。
	実績値		11,496	12,245				
	達成率		102.6%	106.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消 放課後児童支援員等の処遇の改善 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 「おおいた子ども・子育て応援プラン(第3期計画)」に基づく事業実施の促進 放課後児童クラブの受け皿拡大による待機児童の解消 放課後児童支援員等の処遇の改善による人材確保の推進 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	保育士確保対策事業		事業期間	平成28年度～平成 年度	政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
					施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備
総合評価	C	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課	評価者	こども未来課長 二日市 聖子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	待機児童解消のため、保育所等の定員増や子育て支援に関わる人材の確保・養成と質の向上が喫緊の課題となっている。	事業の目的	待機児童を解消するため、必要な保育の担い手の確保を図る。
-------	--	-------	------------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①保育人材確保のための取組の推進(貸付金) 県社会福祉協議会が実施する保育士修学資金貸付事業及び再就職準備金貸付事業への補助金交付	①	7,371	総コスト	202,000	48,427	20,456
②保育士・保育所支援センター運営事業 委託先：大分県保育連合会 就職あっせんや「保育のしごと就職フェア」の開催、再就職支援実習等を実施	②	4,422	事業費	199,000	45,427	17,456
	③	2,241	(うち一般財源)		5,482	11,112
③子育て支援員研修 委託先：株式会社テクノ・サポート 保育士資格を有しない者に対して子育て支援員研修を実施	④		人件費	3,000	3,000	3,000
	計	14,034	職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	保育士修学資金及び再就職準備金貸付件数(件)	目標値			80			53%	子育て支援員研修受講修了者数(人)	目標値		200	400		
	実績値			41				実績値			206				
	達成率			51.3%				達成率			103.0%				
保育のしごと就職フェア参加者数(人)	目標値			50	51		32%	目標値							
	実績値			51				実績値							
	達成率			102.0%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
保育士確保数(人)(増加した数)	目標値			62	142		a	保育士不足による保育所待機児童の解消のため、保育士・保育所支援センターに再就職支援コーディネーターを配置し、きめ細かな就職あっせんを行うほか、「保育のしごと就職フェア」の開催、体験実習による再就職支援を行うことで、潜在保育士の再就職を促進することができた。
	実績値			157				
	達成率			253.2%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 各種貸付制度の周知 「保育のしごと就職フェア」への参加呼びかけ 子育て支援員研修申込者が予想を大幅に上回ったことから、受講定員の増加を検討 28年度に修了した子育て支援員の更なる保育スキル向上 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 貸付事業への申請者の増加を図るため、対象者への制度内容の周知を徹底 「保育のしごと就職フェア」会場のアクセス改善に加え、保育所や養成施設(県外を含む)に参加呼びかけを実施 子育て支援員研修の受講定員の拡大と修了者に対するフォローアップ研修の実施 				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	子育て支援従事者研修事業		事業期間	平成27年度～平成 年度	政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	
					施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課	評価者	こども未来課長 二日市 聖子	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子化や核家族化の進行により、地域全体で子育て家庭を見守り支えていく仕組みづくりが課題となっている。	事業の目的	地域に支えられながら安心して子育てをすることができるよう、子育て支援に関わる人材の確保・養成と質の向上を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①放課後児童支援員認定資格研修事業 委託先：(社福)大分県社会福祉協議会 子どもの育成支援にあたる従事者が有資格者となるための研修を実施	①	2,757	総コスト	9,614	8,479	8,798
②子育て支援員対象研修事業 委託先：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 子育て支援事業従事者に必要な研修を国のシラバスに沿って実施	②	974	事業費	4,614	3,479	3,798
③家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)研修 従事者及び市町村関係者を対象とする事例検討会及び研修を実施	③	367	(うち一般財源)	90	89	142
④放課後児童支援員資質向上研修事業 従事年数が2年未満の支援員を対象に、衛生対策や安全管理についての研修を実施	④	89	人件費	5,000	5,000	5,000
	計	4,187	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
a	専門的な研修の実施回数(放課後児童支援員)(回)	目標値	2	2	2		66%	ホームスタート関係者スキルアップ研修受講者数(名)	目標値	80	80	80		9%	a
		実績値	2	2		実績値			118	140					
		達成率	100.0%	100.0%		達成率			147.5%	175.0%					
	専門的な研修の実施回数(子育て支援員)(回)	目標値	2	1	1		23%	専門的な研修の実施回数(資質向上研修)(回)	目標値	1	1	1		2%	
		実績値	2	1		実績値			1	1					
		達成率	100.0%	100.0%		達成率			100.0%	100.0%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
a	専門的な研修を修了した子育て支援者数(放課後児童支援員、子育て支援員)(人)	目標値	350	350	350		a	放課後児童支援員は277人、子育て支援員専門研修は44人が修了し、子育て支援に関わる人材の質の向上を図ることができた。
		実績値	336	321				
		達成率	96.0%	91.7%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 各研修の継続的な実施 放課後児童支援員及び子育て支援員のさらなる資質向上 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 利用者支援事業にかかる子育て支援員対象研修を平成29年度に実施 子育て支援に関わる人材の質の向上を図るため、引き続き各種研修を実施 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	保育所等機能強化事業		事業期間	平成25年度～平成28年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
				施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備		
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	こども未来課		評価者	こども未来課長 二日市 聖子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	保育所や幼保連携型認定こども園において、障がいのある子どもやネグレクトなど特別な配慮が必要な家庭や子どもへの対応等を適切に行う、または適切な支援につながるような人材の育成が課題となっている。	事業の目的	多様な保育サービスの質・量を充実させるため、担い手である保育士や幼児教育・保育の質の向上等に対する専門研修等を実施することにより、保育所等の機能強化を図る。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①保育コーディネーター養成事業 保育の質を充実させるための専門研修の実施(全7回)	①	3,191	総コスト	5,360	5,727	
②幼保連携型認定こども園法定研修 幼保連携型認定こども園に新たに採用された者に対する研修の実施(全7回)	②	519	事業費	3,360	3,727	
③認可外保育施設保育力レベルアップ研修 幼保連携型認定こども園における10年経験者又はそれに準ずる者に対する研修の実施(全6回)	③	399	(うち一般財源)	1,765	1,934	
④認可外保育施設保育力レベルアップ研修 県内の認可外保育施設(大分市除く)の保育者を対象とした保育力向上研修を実施(全3回)	④		人件費	2,000	2,000	
	計	4,109	職員数(人)	0.20	0.20	

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価割合	評価
	保育コーディネーター養成研修の開催回数(回)	目標値		7	7			7	78%	認可外保育施設保育力レベルアップ研修の開催回数(回)	目標値	3	3		
実績値			7	7		7	実績値	3			3		3		
達成率			100.0%	100.0%		100.0%	達成率	100.0%			100.0%		100.0%		
幼保連携型認定こども園新採用職員向け法定研修の開催回数(回)		目標値		7	7		7	13%	目標値						
		実績値		7	7		7		実績値						
		達成率		100.0%	100.0%		100.0%		達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果
専門的な研修を終了した子育て支援者数(保育コーディネーター)(人)	目標値		80	80		80	a	保育コーディネーターを養成したことにより、保育所等において多様な保育サービスを提供できる体制を整備することができた。
	実績値		81	112		112		
	達成率		101.3%	140.0%		140.0%		

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの県内の保育所等に、養成した保育コーディネーター及び幼保連携型認定こども園法定研修を受講した職員を配置 ・養成した保育コーディネーターのフォローアップ体制の整備 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の更なる向上 ・これまでの取組に加え、保育コーディネーターのフォローアップ研修や、キャリアアップを目指す保育人材のための研修を実施 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業(旧高齢者・子育て世帯リフォーム支援事業)		事業期間	平成26年度～平成30年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進～子育て満足度日本一の実現～			
				施策区分	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備					
総合評価	C	継続・見直し	事業実施課(室)名	建築住宅課		評価者	建築住宅課長 宮本 吉朗			

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子高齢化が進行する中、子育て・高齢者世帯の安全で安心な暮らしを支える住まい・住環境づくりを推進しているが、県内には築後年数の経過した住宅が多く存在し、バリアフリー基準を満たしていない住宅も多い。	事業の目的	子育て満足度日本一の実現のため、また高齢者が安全に暮らせる良質な住まいの確保を図るため、子育て世帯、三世帯が同居する世帯及び高齢者世帯が必要とする既存住宅の改修工事に補助を行う。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①三世帯同居世帯リフォーム支援 三世帯同居世帯が行う台所、浴室等改修工事の費用を助成する市町村への補助(16件) ②子育て世帯リフォーム支援 子育て世帯が行う子供部屋等の改修工事の費用を助成する市町村への補助(29件) ③高齢者世帯リフォーム支援 高齢者世帯が行うバリアフリー改修工事の費用を助成する市町村への補助(51件)	①	15,000	総コスト	18,500	23,173	37,000
	②	7,500	事業費	11,500	16,173	30,000
	③	7,500	(うち一般財源)	11,500	16,173	30,000
	④		人件費	7,000	7,000	7,000
	計	30,000	職員数(人)	0.70	0.70	0.70

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	三世帯同居世帯リフォーム支援説明会回数(回)	目標値		4	4	4		4	50%	高齢者世帯リフォーム支援説明会回数(回)	目標値	4	4		
実績値			3	4			実績値	3			4				
達成率			75.0%	100.0%			達成率	75.0%			100.0%				
子育て世帯リフォーム支援説明会回数(回)		目標値		4	4	4	4	25%	目標値						
		実績値		3	4				実績値						
		達成率		75.0%	100.0%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
住宅改修工事補助件数(件)	目標値		115	140	140	140	C	補助を活用した住宅改修工事の実績が、三世帯世帯16件、子育て世帯29件、高齢者世帯51件であった。従来からの子育て世帯と高齢者世帯の実績は前年度と比較して少し減少しているが、新たに制度を設けた三世帯世帯では広報が進むにつれ実績が伸びていった。
	実績値		105	96				
	達成率		91.3%	68.6%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・三世帯同居世帯リフォーム支援及び子育て世帯リフォーム支援制度の周知	今後の事業方針 ・事業者向け説明会で利用促進の呼びかけ、併せて関係団体へ所属会員を対象とした周知依頼 ・新聞、ラジオ、リーフレット等による広報の継続				